

いと思ひます。

オ一点とソ一点とを道路の舗装につぎ示して、オ二点とソ二点とを都市計画街路のユ・ユ・ノ号街路につぎ二箇箇申しあげたいと存じます。オがオ一点道路舗装につぎ、一昨年、昭和四十二年六月オ二回定例会におき示して道路行政につぎ私は理事者に質問申しあげ示したか、そのあり事を前に能く各所の街道の視察をしてたけつてございします。

い二を見示しても本道路以外には数多くの悪路があり示してやのために保育園に通う幼児とかあるいは小学校の児童、また地方のオ々が非常に困る甚だしいものがあり示して、オが私は理事者に示して二の件一般質問をしたのであります。その際に理事者は「私も道路行政については深い関心をもっております」と素直に二の二を授け取って下さったのであります。又オ財政再建特別措置法の運用中にもかかわらば予算も追加増額され示して執行していただいたため

施政方針

一般質問
(水谷)

一般質問
(杉本)

福生町議会



けつてございしますが、それ以来現在示ぐに排水工事一本、舗装工事一本、合計十二本、金額にして約千五百万円とゆう数多くの事業を遂行され示して二とは感謝の旨はあります。しかしながら全体を広く眺め示した時にまだ示だ悪路は相当数多く散在しており示す。先日の大雪の時などは二は示めにみる大雪でござい示したのぐ例と示り示せんが、舗装されていはい道路などは一週間も経てから雪が解け始め示して、裏通りを通行するオ々は非常に迷惑としておたのぐござい示す。その奥情をみ示しても道路舗装は直接地方のオ々の福祉に繋がかる身近な大きな問題であり示す。理事者におき示しては一日も早く示た一本でも多くの舗装、改修を重点事業に行ういたすべきたいと進言するかのぐござい示す。

下で一言申しあげたい二とは昭和四十二年六月の定例会の一般質問中に私は福生町の議員としての立場からい二を優先的にやるほしいなと示しあげた二とはござい示せん。

あくまでも市全体の悪い道路を広く調査していただき、
そして、公平な立場と考へ方から一番悪いところから順次
決り執行してほしく強く要望いたしてまいりました。現在まで
に実施いたしました排水工事または道路舗装工事等
はそのとおり公平に行なわれたと信じておりますが、場所によ
り道幅が狭かたり曲り曲りしているところなどで今までに舗
装されたところより以上に道が悪く、雨の時は歩行
中に車でも通りずらくそのために逃げに走りまわらねばな
らぬところも非常に所々あります。その点十分留意あ
るほしく強く要望するものであります。私も協議員の
一員としてして教育面では学校の新設または体育館
の建設、開発事業では田んぼの開発あるいは東部の
開発等その他大さば予算を要する事業が山積してい
ること十分承知をしておりますが、現在までの実績か
ら考へてしても、財政法準用化にこれだけの事業を遂行さ
れまいとの判断する者はもちろん、取組のほみほみほりぬ苦

長官

労と努力があつたものと感謝するものでございしますが、財政
法解除の現在当初予算には誠に私たちが拝見いたして
しても、財政法解除の現在でも大差ない予算が組んであり
ます。私は当然これに財政法解除にほめたものでございす
から、当時よりも予算も大いに計上していただけるものと信
じていたわけでもございします。しかし福祉のために格段の配
慮をお願い申し上げるものでございします。この点につき
いては、理者は昭和四十三年度の計画より割合をどのよう
に考へておりますか、先き程お伺いいたしてまいりましたが、一
度はつきりと説明願いたいと思ひます。

オニ点といたして、市では都市計画道路の二ノ号にフリー
でございします。収場道路の延長でございしますが、これも昭和
四十二年六月の定例会におきましてその件と同時に私は
賛同いたしました。その際理事者が「当然やらなければ
ならぬ事業でござるだけ」期待にやうやう努力いたして
おります。とご答弁にいただいたわけでもございします。それから現

長官

直達前止

直達前止

在るに手をつけていた下げるものと思ふ。ありては、
 現状では全然手がついておりません。それ以下の段階と
 して地主さんとの交渉には非常に苦勞を蒙つておられ、
 本当に下すかしの事業とはおきておりません。現状では福
 生町将来を考へますときにゆとり最も重要は幹線道路
 とおぼると私は信ずるものであります。この都市計画街路
 の二、お寺が何人の役目を果して現在いるか。仏像を魂入れ
 とする状態はよいかと私は思ひます。それに加えてあの
 道路の現状はどうか、井の道路ともいふは、井の
 中でも最も悪の道路ではいかと私は思ひます。その面から
 お合せ考へますとこの解決に於て幹線道路の一步前進
 とお寺の迷惑を解消するためにも格段の努力を願うま
 のでございします。またこの件につきまして私の耳にいた
 ーしては噂でございしますが、相当話しか進展してゐる
 とも伺ふております。この問題につきまして現況はうまい今
 後の二つを説明願ひします。この点につきましては市長

の視察を企てても説明がありまして、重複するやうで
 はあります。以上二点につきまして理事者の明確なるご答
 弁をお願いいたします。私の一般質問を終わらせていただきます。

(市長石川常太郎君登壇)

市長(石川常太郎君) 杉本議員さんの二質問にお答へ申さ
 げます。大変ありがたう。ご意見を賜りましてありがとうございます。
 ございします。おつぱらういふ平を旨といたしまして、ご意見を十分
 尊重いたしまして本軍は舗装を特に力を注ぎたいと思つて
 おります。予算書に盛り込んでございします。と、当初
 予算につましてはかたはしくはいのどございしますが、事
 後主としてして道路方面に力をつぎ、二人で参りたい
 と考へております。二点でございしますが当初予算の意
 願が四五年度現行予算に比しまして少はいと、そのこと
 ございしますが、先き程申しあげた通りとあり一番の大きな
 原因は、販運は前者に多かたわけございしますが、本

軍は二が宛宛にたいして、師音関係が、よく、下と、ソ、ニ、
が、大、き、な、原、因、で、な、さ、れ、ま、す。い、ち、つ、が、国、が、財、政、の、引、き、締、め、
を、し、て、あ、る、関、係、に、予、算、は、堅、實、に、執、行、さ、さ、る、の、を、祖、め、と、し、
て、う、ち、指、道、す、を、針、に、基、き、た、た、め、で、あ、り、ま、す。又、お、本、軍、は、首、
長、選、掌、の、軍、に、あ、た、り、あ、り、ま、す、の、を、当、然、の、理、と、し、た、排、水、路、あ、る、
い、は、保、育、園、の、改、築、等、予、算、に、計、上、し、て、お、さ、さ、る、と、存、じ、た、の、
ご、ご、い、ま、す、け、れ、ど、も、さ、さ、る、こ、と、は、決、ま、り、あ、り、ま、す、け、れ、ど、も、
金、額、が、確、定、し、た、し、て、あ、り、ま、さ、ん、で、一、た、の、を、計、上、さ、し、ほ、か、た、
め、け、で、ご、ご、い、ま、す。現、在、の、予、算、は、や、の、お、さ、さ、る、い、は、く、さ、さ、
る、の、と、し、て、計、上、し、た、の、で、ご、ご、い、ま、す。

三番目として、み、み、の、街、路、で、ご、ご、い、ま、す、が、大、変、遅、い、ま、す、
申、し、訳、け、い、は、バ、カ、で、ご、ご、い、ま、す、が、先、日、も、奥、は、青、梅、市、長、
と、利、根、は、長、に、お、願、い、し、た、し、ま、す、合、さ、て、議、長、さ、ん、に、も、お、願、
い、し、た、し、ま、す、都、の、お、に、み、み、の、促、進、に、つ、き、ま、し、て、強、く、要、
望、し、て、参、り、た、め、け、で、ご、ご、い、ま、す。私、は、上、京、の、度、に、み、み、
の、促、進、に、つ、き、て、は、接、渉、を、し、て、参、り、あ、り、ま、す、が、都、の、お、の、

を、針、が、最、近、立、川、お、り、昭、島、の、田、人、ほ、の、バ、イ、パ、ス、に、つ、き、が、な、め、
け、で、ご、ご、い、ま、す、の、を、内、出、の、十、字、路、を、下、だ、い、し、事、業、決、定、
を、し、た、し、ご、ご、い、ま、す、早、晩、着、工、の、ほ、こ、に、お、り、あ、る、の、で、
ご、ご、い、ま、す、が、下、か、り、だ、ん、だ、ん、に、上、り、く、る、人、だ、と、い、う、見、解、を、
示、し、て、あ、る、め、け、で、ご、ご、い、ま、す。内、出、を、は、四、十、五、年、度、下、り、
う、で、ご、ご、い、ま、す、が、私、の、お、は、や、め、で、お、お、る、人、だ、と、是、非、
途、中、か、り、が、も、同、時、に、施、行、し、て、ま、ら、い、た、い、と、い、う、こ、と、を、強、く、接、
渉、し、て、参、り、た、め、け、で、ご、ご、い、ま、す。都、と、し、た、し、一、ち、一、ち、も、都、単、
独、で、は、お、か、い、た、大、変、な、の、を、国、の、補、助、を、と、り、し、て、お、つ、け、た、い、ん、
だ、と、い、う、こ、と、で、その、た、め、に、遅、れ、て、い、る、人、だ、と、い、う、こ、と、を、申、し、て、お、
る、め、け、で、ご、ご、い、ま、す。さ、さ、る、だ、け、の、予、算、で、け、つ、に、お、か、り、
是、非、と、い、う、こ、と、を、強、く、要、望、し、て、あ、る、め、け、で、ご、ご、い、ま、す。
今、後、と、も、他、市、街、の、応、援、を、し、た、だ、し、ま、す、と、陳、情、さ、さ、る、こ、と、に、お、
り、あ、り、ま、す。年、度、が、変、り、ま、し、た、り、ま、す、遅、く、は、く、杭、だ、け、
が、も、打、り、し、た、だ、く、お、う、に、手、配、し、て、ご、ご、い、ま、す。年、度、中、い、く、
ら、で、お、お、り、か、り、と、い、う、こ、と、を、お、願、い、し、て、あ、る、め、け、で、ご、ご、い、ま、す。

ほか先き程お話しがございまして、土地の権利者のその
の承諾はほとんどいただけておりまして、前の方としまして
り、そのほかはどうかと考へておりまして、それがいいと
して、また変に遅れまして、決り合い次第でございまして、今
後一層強カにばたきかけたいと思っております。また是非
その点に協カをお願いしたいと思っております。甚だ簡単
でございまして、が、答へておりました。

二番（杉本啓雄君） くだい子の説明が大体わかりました、どうも
道路舗装につきまして、先き程申しあげましたとおり、民
にばたがる一番大きな福祉では、いかと思ひます。その格段の
取慮をお願いいたします。また、二、三ににつきまして、これ
ほかの発展と、ほかの福祉にばたがる重要な要素は、道路は、ほか
ろうかと思ひます。今後とも一層の二意見を願ひ、二
れが速やかにござるよう、は、ご尽力をお願い申しあげたいと思
ひます。

議長（田村匡雄君） つぎに二十一番下沼秀伍議員よりお願いいた

します。

（二十一番下沼秀伍君登壇）

三十一番（下沼秀伍君） 私は財政と建設関係につき、一般質問をする
もの、ございまして、先き程、市長の施政方針の中に、また水
路、杉本両議員さんの道路関係等に重複する点もある、これと
思ひます。が、それらの内容につきまして、ご答へをお願いする
ことにいたしました。私の思ひは、それと似ております。内容は、ある
ことを、また冒頭に申しあげておきたいと思ひます。
私は、質問にあたり、まず、市長の所信を伺いたうと思ひ、その
ごうにします。それ、いかんにより、まず、私の質問も、極め、事務
的にばたがるを得、これと、ご了解願ひたいと思ひます。

市長の任期も、残り二カ月をいかに、まず、先きの説明があつ
ても、そのほか、どうかと、私は考へております。去る三十九年の
市長、又、替に、より、まず、先き、理事者の、仮、また、議決を、した
し、一、当初、予算が、踏襲を、みるに至らず、又、財政、運用、という
以外、その結果を、招いた、ゆゑ、ございまして、が、先き、理事者の、所、点は、

から各議員さん示した市長の施政方針の中にもあるゆへ
がございす。私が今すぐお尋ねしたし示したゆへ
の断言に基き示して建設事業が進められなければなら
ない。これはお示しをございす。が、学校用地、水道施設、
区画整理等に先行投資をしなければおとに悔をのこさば
りければならぬ。というふうな事業がたくさんあると思ひ
す。これらの先行投資に充てる市長の構想を承りたい
と思ひす。つぎに四十三年度の建設事業について若干
ふけてみたいと思ひす。これは四十三年度の決算にばら
りければお示しした。これは申しあげられたいのございす
。が、お示しにも熊川地区重点の建設事業であつた
うに思うのございす。これは私の解みばかりでなく
多くの市民がは々にいうのございす。すなわち通
学路優先の名のもとに便乗した道路の多いことを私は
指摘したいのございす。私の調査により示すと現在
工事仲のものを含め延長約三千八百米、その内熊川分

が二千七百米、七十%を占めておりす。金額にこそ
約二千七百米の内二千四百米が熊川地区で七十%を占めて
おりす。このほか大分事業が約一千九百米の内三分の二は
熊川地区に費されておる。うございす。が、熊川市長
は公平無私な立場で市長であると思ひておりす。
福生町の中に地以外は大同小異の環境にあると思ひす。が、
県情、諸願等から山積されておると思ひす。が福生町
民のための重点施策を公平に行はねばならぬことを要請する
。とにもこれには自分さん示にも良く書きていた。だから私は
思ひす。が、その時点から一におき示して建設委員会
あるいは議会等ではかそくをうけた問題でございす。の
私は今これをどうにかしよう。という。ことではないうございす
。が、四十三年度における今後の重点施策というものを
道路建設においてどのよう構想をもち、おられるか。その
一端をお伺いしたいと思ひす。以上でございす。私の質問を終
りす。

(市長 石川常太郎君登壇)

市長(石川常太郎君) 大沼議員ご人のご質問にお答えいたします。最初に任期の点でございますが、真に四年お人ぽんとする市長の幸福という点を考へてまいりました場合、決心というものは、簡単に下せるものではないと私は考へております。子供ごの決心と勇猛心がございます子供せんげれば、いかしい財政担当の決というものは、つぎがたいものでございす。極めく慎重に先の先を考へぬき、財政担当が真に住民の幸福につはかる自信がつきせんうちは、うかつにはございす。はい、またそれには、財を侮辱するもの、よく考へております。よろしくお願ひいたします。税の点につきましては、まだ国会の審議中でございます。不明確の点が多いのでございす。が、本年年度当初予算に盛り込まれたもの、十分見込んだものでございす。そのうち、税を見込んだものでございす。が、その点については、後刻税務課長より説明申しあげます。起債、補助金等でございますが、先き程申しまい



下すように、投資の抑制という点を、国がうたふております。その困難に、なることは、簡単にはいじす。基地交付金に、つぎは、年々増額を、三億と考へております。税と、この二つは、ございす。やむを得ず希望は、もてゐるわけでございす。また、この基地交付金につき、考へるには、全国基地協議会等、で、るだけ、強力な運動を、もちこたへ、増額の運動を、読り、参り、たいと思ひ、考へております。私費解消でございます。子供が、私、義務局長に、逢い、子供、たが、その時の二と、を、申しあげ、す。現在のところ、千七百、六、百、四、と、いふ、確、定、を、し、て、い、ふ、う、で、ございす。財政力の、指、数、一、以、の、と、い、う、は、千、七、百、四、一、以、上、の、と、い、う、は、六、百、四、と、い、う、う、う、話、が、あ、た、う、で、ございす。子供、め、も、今、の、と、い、う、決、定、は、し、て、お、り、す。ん。う、う、み、に、福、生、の、財、政、力、指、数、は、七、三、で、ございす。監査結果の現金につき、考へるには、収入、収、入、リ、ニ、説、明、申、し、あ、げ、す。う。学、校、用、地、木、道、用、地、区、画、整、理、の、先、行、投、資、に、つ、き、て、ございす。が、な、か、な、か、多

額の費用が必要に存するもののごとく示すが、やはりなるべく早く先行投資をしなければならぬわけのごとく示して、オ五、オ六の学校は決定しており示すが、将来は五、六の学校二校、中学校一校が必要であらうと予想しており示す。従いましてこれにつきましては慎重な態度をもち示して、また議会にも二相談申し上げ示してしめるべきことを横じたいと考えております。四十三年度建設事業におきましては、熊川地区が多いためのごとく示すが、ほゞ表面のみ示すと熊川地区が多いためのごとく示すが、熊川の方が非常に悪いためのごとく示す。私が局長に示すところには、舗装等はほゞいかに知れはるというところを常に申しおたのぞくけれども、公平にみまして一番悪い、あるいは南の坂等には消防自動車を通ればというところやためのごとく示す。今後とももちろん公平を旨にとりやろ参りたいと思っております。四十三年度の

今後の道路問題の構想のごとく示すが、事務当局におきましてやはり通学路の優先、交通安全等の原因と存するところの対策等十分検討したに示して、公平を旨としてやろ参りたいと思っております。尚、公平を旨と示すが公平といたして示す。

税務課長（古谷徳男君）

大張議員さんの二質問のごとく示す

下が、地税の見直しと四十三年度地税の見直し、それから基礎交付金の増額関係につき示してご答申しあげます。福生町の地税につきましては過去十年間の平均の伸びを計算してみますと、大体十五、六%位毎年伸びており示すが、特に税率は四十三年度から四十二年度の伸びは非常にやれおりに回り示す、決算がまだ出ておりません、二十%以上の伸びに存すると思っております。これは地税がほかのためにこの伸びを不したためのごとく示すが、四十三年度におきましては、通知のとおり現在国会におきまして地方税法の一部を改正する法律案が上程さ

れであり、二れがおやうく決定にあらむと思ひます。が、
やうにしてと地所税におきましては一昨年度分の地所税がござい
ますが、四十三年度分の地所税におきましては、大引け地所税が
見込されるわけをございします。地所税の内容はほとんどが
地所税の関係でございして、あと固定資産税その他の関
係につきましては大引け改正はないかと考えてございします。
やうにしてと大体今のところ試算でございしますが、四十二
年度を平年度と仮定いたしましたとして、地所税分を試算して
みますと、大体地所税におきましては千五百百万円前後の
繰収がみられるわけをございします。やうにしてと四十三年度
におきましては増等を勘定いたしましたとして四十二年度と四十
三年度の伸び率をございしますが、最終的にはおやうく十%
以上は伸びると思ひますが、やうな関係で四十三年度の当
初予算におきましては本議会に申し上げてございしますが、
当初予算におきましては三億二千百万円の地所の予算を上
げあるわけをございします。このやうなわけをございしますが

今後の補正断彙と作るかのほ、今示すのようは数字ほと
くも見込されたいのぞ、ほ、いかと考へてありき。

それから減税の穴を埋め、この二とを二とに示せんが、
自動車取得税が今度都道府県民税として目的税と
いう形で、これが国会で上程にほそおり示すが、これは都
道府県民税でございまして、都が自動車取得税を徴収
したに示してそれを地方に交付するのを二とに示すが、その
金額等にかき示してほすだ、私どもの方にはこの位の額に
ほそかという二とは出しおり示せんのでわかり示せんが、大
体自動車取得税を取込むの十分の七を市町村に配分
し、十分の三は都道府県でその財源に充てる、これ
はあくまでも道路の財源に充てるという二とでございし
る。減税とは全然別個のものですが、二とに示す。以上の関
係で今後の自動車取得税の交付分がどの位くるのかを定め
かり示せんが、本年度は当初でござい示すので、七月から奥
迄にほそ予定にほそあると思ひ示すので、七月から翌年の三月